



よこやま こういちろう  
**横山 紘一郎** 議員  
(政経会)

**水道法改正に伴う富士宮市の水道の見通しについて**

**問** 命に直結する水道事業を営利目的の民間業者に委ねた場合のメリット、デメリットの方策はあるのか。

**部長** コンセッション方式の自治体側のメリットは、運営権設定に伴う対価の取得、民間事業者の技術力や投資ノウハウを生かした老朽化、耐震化対策の推進、また技術職員の高齢化や減少に対応した技術継承の円滑化などがうたわれている。デメリットは、民間企業は営利を目的としていることから料金改定の上限は設定できるが、大幅な値上げや水質管理に係る投資を怠ることによる水質悪化の可能性などが想定される。そのため監視する専門的な職員の配備が必要になり、新たな経費も生じてくるので総合的に勘案すると、本市の水

道事業としては、コンセッション方式の採用を考えていない。

**問** 現在利用していない旧大宮配水池の跡地について、今後、緊急時の防火用としての役割など、利用計画について。

**部長** 現在使用している大宮配水池の更新時の代替施設として考えている。

**小中学校のエアコン設置事業について**

**問** 市内850室、総予算33億円という大型予算事業であるが、先行すべき設計は進んでいるのか。

**部長** 入札は35校を4段階とする。まずは第1段階として3月22日に実施し、順次4月末、5月末、7月末に実施する予定。第1段階では、大宮小、貴船小、西小、芝富小の4校を計画している。

**問** 空調機、キューピクル新設の納期について。

**部長** 入札業者と綿密な打合せをし、できる限り遅れないよう進めたい。



わかばやし しづこ  
**若林 志津子** 議員  
(日本共産党議員団)

**高すぎる国民健康保険税を協会けんぽ並みに引き下げるよう要望**

**問** 国保は他の保険制度と比べ、所得は低いですが保険税が一番高いという不公平がある。均等割、平等割の見直し及び廃止を行うことと、国が1兆円の財政支援を行えば、協会けんぽ並みに引き下げられることの見解は。

**部長** 保険税が高いことは制度を理解してもらうよう説明している。均等割、平等割への市独自の減免制度は予定していないが、1兆円の財政支援を求めるとともに、引き続き市長会等を通じて財政支援の拡充を強く求めていく。

**小中学生のランドセル、かばんの重さ軽減の対策を行ったのか**

**問** 平成30年6月の一般質問後、文科省から通達が出された。小・中学校で対策はされたか。

**教育長** 小学校は全ての学校で、中学校では5校が以前から行い、残り8校が対策を行った。対策内容は学校に置いてよい教科書、日課の調整、教師間での再確認、保護者へのお便りなど。

**中学生の制服に女子用スラックスを加えて！**

**問** 東京都世田谷区などで実施している。当市でも寒さ対策、多様性の観点から実施を。

**教育長** 北部の学校での寒さ対策は、タイツの使用で対応できている。多様性の観点は今までも認めてきた。それ以外でスラックスへの要望はないが、今後要望が増えてきたら考えたい。

**安定ヨウ素剤の備蓄場所を増やして！**

**問** 安定ヨウ素剤を配布する事態のとき、子どもに早く配布できるよう、事前に学校、幼稚園、保育所、認定こども園などに備蓄できないか。

**部長** 備蓄場所は、職員が常駐し安全性が確保され、直射日光を避けられる保管場所があることから、本庁舎ほか5つの出張所としている。配布時はこれらの6カ所から44カ所の指定避難場所に配布する予定。